

各位

遠鉄グループ 2019 年度中間決算について

当上半期におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響などにより先行きの不透明感が広がるなかで、堅調な企業収益を背景に設備投資が緩やかに増加し、個人消費の持ち直しや雇用・所得環境の改善が続くなど、景気は緩やかな回復が続きました。

当上半期における当社グループの連結業績につきましては、売上高は 10 期連続増収・過去最高の 1,063 億 9 千 6 百万円(前年同期比 10.4%増加)、経常利益は 30 億 4 千 3 百万円(前年同期比 12.8%増加)、中間純利益は 19 億 3 千 8 百万円(前年同期比 37.4%増加)となりました。

今後の見通しにつきましては、来年開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けて引き続き穏やかな景気回復が期待される一方、自動車業界を取り巻く環境の急速な変化が公共交通事業者にも影響を及ぼす動きを見せており、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況の中、当社グループでは、4つの重点政策である「なくてはならない商品・サービスへの集中」「間接部門の集約による付加価値向上」「強みを独自性に進化させる人材の輩出」「新たなIT技術による仕組みの構築」を更に推進し、地域社会になくてはならない存在であり続けるとともに、さらなる業績の向上に努めてまいります。

なお、2019 年度の年間連結業績につきましては、売上高は 2,183 億円(前年比 2.1%増加)、経常利益は 43 億円(前年比 30.5%減少)、当期純利益は 25 億円(前年比 32.7%減少)を見込んでおります。

(別紙)

- (1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況
- (2) 業績推移(連結決算・セグメント別売上高)
- (3) 遠鉄グループ各社の主な事業内容

(1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況

① 運輸事業(鉄道事業・バス事業・タクシー事業など)

鉄道事業におきましては、駐車場や駐輪場の拡張による P&R(パークアンドライド)推進に取り組み、鉄道線の利用者が好調に推移しました。

バス事業におきましては、空港バス「e-wing(イーウイング)」では、鉄道事業と同様に駐車場拡張による P&R(パークアンドライド)推進に取り組んだことに加え、昨年 10 月に中部国際空港に開業した商業施設やゴールデンウィーク 10 連休が追い風となり、利用者が好調に推移しました。高速バス「e-LineR(イーライナー)大阪線」では、本年 3 月の新名神高速道路「新四日市 JCT」～「亀山西 JCT」間の開通で定時性が大きく改善したことを契機に、9 月よりナガシマリゾート内「長島温泉」バス停に乗り入れを開始し、利用者が大幅に増加しました。

タクシー事業におきましては、乗合タクシーにおいて袋井市のデマンド路線の運行を開始し、地域交通の足として利用者の利便性向上に努めました。また、様々な方が利用しやすい安全性能に優れたジャパンタクシーの導入を進め、ジャパンタクシーの総保有台数は 132 台となりました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は、75 億 1 千万円(前年同期比 0.2%増加)となりました。

② リテールサービス事業(百貨店業、食品スーパー業)

百貨店業におきましては、本年 4 月に無印良品がオープン、8 月に地下 1 階の弁当惣菜コーナーのリニューアルを実施、さらに 9 月には東急ハンズがオープンし、新しい店舗の導入やリニューアルで、新たなお客様の取り込みに努めました。また、本年 4 月にネットショッピングサイトをリニューアルし、ギフトアイテムや遠州の名産品、お弁当宅配など、幅広いラインナップを取り揃え、サービス向上に努めました。

食品スーパー業におきましては、競合スーパーやドラッグストア、コンビニとの競争が続く中、お客様からの支持が高い惣菜部門をさらに強化すべく、新商品の販売と人気商品のリニューアルを実施し、お客様の満足度向上に努めました。

以上の結果、様々な取り組みをしてまいりましたが、リテールサービス事業の営業収益は、430 億 3 千万円(前年同期比 2.9%減少)となりました。

③ モビリティサービス事業(自動車販売業、自動車運送業、石油製品販売業)

自動車販売業におきましては、本年 4 月に発売された新型 RAV4 やレクサスの新車販売が好調だったほか、中古車の販売も順調に推移しました。

静岡トヨタ自動車では、店舗運営の効率化と上質なおもてなしをサポートする、「ナンバー検知システム」を新たに 3 店舗で導入しました。また、夏場の暑さ対策としてサービス工場への全館空調の導入を開始しました。

ネットトヨタ浜松では、本年 4 月にトヨタ自動車推奨の先進安全機能を疑似体験しながらお客様が正しく理解できる VR シミュレーターを導入しました。

以上の結果、モビリティサービス事業の営業収益は、359 億 8 千 5 百万円(前年同期比 37.9%増加)となりました。

④ レジャーサービス事業(旅行業、ホテル・旅館業など)

旅行業におきましては、ゴールデンウィーク 10 連休が追い風となり、個人の国内・海外旅行が好調に推移しました。また、修学旅行などの国内団体旅行の獲得に努めました。

ホテル・旅館業におきましては、地元の食材「浜松パワーフード」を使用したメニューの提供やスタッフ自ら食材を作る活動を開始し、「食」を通じたホテルの魅力向上に努めました。本年6月に10周年を迎えたホテルウェルシーズン浜名湖では、記念の宿泊プランの販売やバイキングメニューを提供しました。

遊園地事業におきましては、本年60周年を迎えることを記念し、6月に愛知県、岐阜県、三重県在住の方を対象に「東海3県県民の土曜日キャンペーン」を実施しました。また、本年3月にオープンしたアトラクション「トマトーナのもりもりトマトーレ」にて、8月に参加型イベント「トマトーレ甲子園」を開催しました。

以上の結果、レジャーサービス事業の営業収益は、47億1千4百万円(前年同期比3.6%増加)となりました。

⑤ 不動産事業(不動産業、建設工事業)

不動産業におきましては、分譲住宅の販売が順調に推移し、昨年を上回る55棟をお引き渡しいたしました。注文住宅では、本年4月よりセレクト型注文住宅「&F(アンドエフ)」の販売を開始し、高性能かつ、リーズナブルな価格設定の新商品を提供することで、顧客獲得の拡大に努めました。リフォームでは、当社施工のホームオーナーをはじめとしたお客様への提案活動を実施した結果、受注が好調に推移しました。

建設工事業におきましては、遠鉄建設では、鉄道線の高架橋脚耐震補強工事を実施しました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は、66億4百万円(前年同期比6.4%増加)となりました。

⑥ その他の事業(保険代理業、介護事業、自動車運転教習業、ビル管理業、業務請負業、情報サービス業など)

保険代理業におきましては、本年5月に静岡トヨタ自動車本社内へ静岡営業所を移転し、静岡市清水区以東の顧客獲得に努めました。9月には大阪営業所を開設し、昨年までに営業所を開設した中京圏、関東圏に加え、関西圏への営業エリアの拡大に努めてまいります。

介護事業におきましては、入居者をフルタイムで見守ることができる「見守りセンサー(商品名:眠リスキャン)」を本年7月より順次導入を開始し、入居者の安心・安全の確保と介護職員の負担軽減に努めました。

自動車運転教習業におきましては、合宿教習での入校が好調に推移しました。

業務請負業におきましては、遠鉄アシストでは、指定管理施設の受託拡大に努め、本年4月より、浜松市南区の「可美公園総合センター」などの施設の指定管理を開始しました。

情報サービス業におきましては、消費増税に伴うプログラム更新や教育現場へのパソコンの導入が順調に推移しました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は、85億5千万円(前年同期比11.2%増加)となりました。

(2)業績推移

① 連結決算

(単位:百万円)

| | 中間 | | | 年間 | | |
|-------|------------|------------|-------------|------------|----------------|-------------|
| | 2018 年度 | 2019 年度 | 2018 年度比 | 2018 年度 | 2019年度 (計画) | 2018 年度比 |
| 営業収益 | 96,377 | 106,396 | 110.4% | 213,836 | 218,300 | 102.1% |
| 営業利益 | 2,542 | 2,804 | 110.3% | 5,821 | 4,000 | 68.7% |
| 経常利益 | 2,698 | 3,043 | 112.8% | 6,191 | 4,300 | 69.5% |
| 当期純利益 | 1,410 | 1,938 | 137.4% | 3,716 | 2,500 | 67.3% |

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

② セグメント別売上高

(単位:百万円)

| | 中間 | | | 年間 | | |
|-------------|------------|------------|-------------|------------|----------------|-------------|
| | 2018 年度 | 2019 年度 | 2018 年度比 | 2018 年度 | 2019年度 (計画) | 2018 年度比 |
| 運輸事業 | 7,494 | 7,510 | 100.2% | 15,305 | 15,200 | 99.3% |
| リテールサービス事業 | 44,330 | 43,030 | 97.1% | 89,943 | 85,600 | 95.2% |
| モビリティサービス事業 | 26,103 | 35,985 | 137.9% | 67,755 | 74,900 | 110.5% |
| レジャーサービス事業 | 4,552 | 4,714 | 103.6% | 9,092 | 9,300 | 102.3% |
| 不動産事業 | 6,204 | 6,604 | 106.4% | 16,108 | 17,100 | 106.2% |
| その他の事業 | 7,690 | 8,550 | 111.2% | 15,631 | 16,200 | 103.6% |

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

2018年度の連結決算、セグメント別売上には静岡トヨタ自動車(株)と静岡トヨタ物流サービス(株)の2018年4月～2018年6月の業績は含まれておりません。

(3)遠鉄グループ各社の主な事業内容(2019年9月30日現在)

| 事業区分 | 事業内容 | 主要な会社 |
|-------------|--------------------------------|--|
| 運輸事業 | 鉄道事業 | 遠州鉄道(株) |
| | 一般乗合旅客自動車運送事業 | 遠州鉄道(株) |
| | 一般貸切旅客自動車運送事業 | 遠州鉄道(株) |
| | 自動車整備業 | 遠州鉄道(株) |
| | 一般乗用旅客自動車運送事業 | 遠鉄タクシー(株) |
| リテールサービス事業 | 百貨店業 | (株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会 |
| | 食品スーパー業 | (株)遠鉄ストア |
| モビリティサービス事業 | 自動車販売業 | 静岡トヨタ自動車(株)、ネットトヨタ浜松(株)、 (株)トヨタレンタリース浜松 |
| | 自動車運送業 | 静岡トヨタ物流サービス(株) |
| | 石油製品販売業 | 遠鉄石油(株) |
| レジャーサービス事業 | 旅行業 | 遠州鉄道(株)、(株)遠鉄トラベル |
| | ホテル・旅館業、遊園地事業 | 遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株) |
| 不動産事業 | 不動産業 | 遠州鉄道(株) |
| | 建設工事業 | 遠鉄建設(株) |
| その他の事業 | 保険代理業 | 遠州鉄道(株) |
| | 介護事業 | 遠州鉄道(株) |
| | 自動車運転教習業 | (株)遠鉄自動車学校 |
| | ビル管理業、業務請負業、 健康スポーツ業、食品検査事業 | 遠鉄アシスト(株) |
| | 情報サービス業 | 遠鉄システムサービス(株) |

グループ会社数 16 社(遠州鉄道含む)